

平成23年5月期

少額短期保険募集人試験問題正解

特定非営利活動法人
少額短期保険募集人研修機構

設問	ア		イ		ウ	
	解答 番号	解 答	解答 番号	解 答	解答 番号	解 答
問題1	1	2	2	1	3	2
問題2	4	4	5	2		
問題3	6	2	7	1		
問題4	8	2	9	1	10	1
問題5	11	1	12	1		
問題6	13	5	14	4	15	1
問題7	16	1	17	2	18	1
問題8	19	2	20	1		
問題9	21	4	22	2		
問題10	23	2	24	1	25	1
問題11	26	1	27	2	28	2
問題12	29	2	30	1	31	2
問題13	32	2	33	1	34	2
問題14	35	1	36	2	37	2
問題15	38	2	39	2	40	1
問題16	41	2	42	4		
問題17	43	2	44	1		
問題18	45	1	46	1		
問題19	47	2	48	1		
問題20	49	2	50	1		

配点：各2点

平成23年5月期

少額短期保険募集人試験問題用紙

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないで下さい。
2. 試験用紙は問題用紙と解答用紙から成っています。
3. 解答は、解答用紙に記載された注意事項に従って、すべて解答用紙に記入（マーク：必ずHBまたはHBよりも濃い黒鉛筆もしくはシャープペンシルを使用）して下さい（問題用紙に書いたものは無効です。）。
4. 解答用紙には、所属少額短期保険事業者名・受験地区名・受験者姓名および受験番号を必ず記入して下さい（「受験票」の記載どおりに記入して下さい。）。また、受験番号をマークすることも忘れないで下さい。
5. 試験の解答時間は、正味60分です。
6. 試験時間中の私語は厳禁とします。
7. 資料（電卓等を含みます。）の持込み・使用は、いっさい認められません。
8. 試験時間中は、携帯電話等の使用はいっさい認められません。あらかじめ電源を切っておいて下さい。
9. 解答用紙は必ず提出し、いかなる場合も持ち帰らないで下さい（問題用紙は持ち帰っても構いません。）。
10. 試験時間中は、「受験票」を机の上の見やすいところに出しておいて下さい。また、運転免許証やパスポートなどの「本人確認書類」も一緒に出しておいて下さい。
なお、試験終了後、「受験票」は各自持ち帰り、所属少額短期保険事業者の指示に従って処分して下さい。

本試験における出題は、「少額短期保険募集人教育テキスト」【平成23年4月版】の記載内容に基づいています。

特定非営利活動法人
少額短期保険募集人研修機構

【保険の基礎知識】

(問題 1)

保険のしくみと役割に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ~)

- ア. 火災で焼失した住宅の再築中に臨時にアパートを賃借するなど、物的損害にともなって余分な費用が発生する費用リスクは、「賠償責任リスク」に属します。
- イ. 保険は、一人ひとりにとっては偶然な事故であっても、大量に観察することによって、全体として損失の発生がどの程度になるかを確率的に予測できるという「大数の法則」を応用したしくみです。
- ウ. 保険契約は、保険募集人が保険契約者に代わって契約を申し込み、保険業者が契約の引受を承諾することによって成立します。

(問題 2)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記1.～4.から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

社会保険は、保険に加入している多くの人々が保険料を拠出し損失を被った人に一定の給付を行うという保険技術を利用し、死亡・疾病・ケガ・ ・老齢などに対して一定の給付を行い、
 または医療を保障する制度です。

1. 生死 2. 所得 3. 災害 4. 失業

【少額短期保険業】

(問題 3)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 少額短期保険業者の資産運用については、預金、国債・地方債の取得等に限定されず、貸付や株式取得も認められています。
- イ. 少額短期保険業は、保険業法に基づく規制・監督の対象となり、契約者保護を全うし、公正な競争ルールに則った保険募集を展開することが求められています。

(問題 4)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ~)

- ア. 少額短期保険業者の取扱う保険では、1保険契約者あたりの死亡保険金額(傷害死亡保険を除きます)の上限は300万円と定められています。
- イ. 少額短期保険業者の取扱う保険では、保険期間に上限が設けられており、生命保険・傷害疾病保険は1年、損害保険は2年となっています。
- ウ. 少額短期保険業では、生命保険会社や損害保険会社とは異なり、積立型の保険や個人年金保険を引受けることはできません。

(問題 5)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 ・)

- ア. 少額短期保険業では、保険金額、保険期間、取扱商品に一定の制限はありますが、生命保険、損害保険、傷害疾病保険のいずれも取扱うことができるなど、自在性を発揮できる土壌があります。
- イ. 少額短期保険業者は、経営の安定と保険契約者等の保護を図るため、資本金を1,000万円以上とすることが義務づけられています。

【コンプライアンス】

(問題 6)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記 1.～6. から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 13 ~ 15)

少額短期保険募集人の基本的な役割は、少額短期保険業者のために保険契約締結の ア. 13 を行い、さまざまな保険商品をお客様に販売することであり、お客様をさまざまな危険から守るために イ. 14 を行うことは、最も重要な仕事のひとつです。

また、万一災害や事故、疾病等が発生した場合は、お客様に対して、迅速かつ円満な解決を援助するなど広範な ウ. 15 が求められています。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. コンサルティング活動 | 2. 販売活動 | 3. あっせんまたは調停 |
| 4. 最適な保険の提案 | 5. 代理または媒介 | 6. 身辺調査 |

(問題 7)

少額短期保険募集人に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 16 ~ 18)

- ア. 特定少額短期保険募集人とは、少額短期保険募集人のうち、損害保険や傷害疾病保険のみの募集を行う者で、少額短期保険業者の委託を受けた者でないものをいいます。 16
- イ. 少額短期保険業者の委託を受けた者は、生命保険、損害保険のいずれの募集を行う場合も、あらかじめ、行政庁への届出を行う必要があります。 17
- ウ. 少額短期保険募集人の登録にあたっては、「商号もしくは名称または氏名および生年月日、事務所の名称および所在地、所属の少額短期保険業者の商号、名称または氏名」などの登録事項の申請が必要となります。 18

(問題 8)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 19 ・ 20)

- ア. 少額短期保険募集人は、保険契約者に対して、更新型の保険においては更新時に契約内容の変更があり得ること、1被保険者についての引受額に一定の制限があること等を口頭で説明すれば、書面を交付する必要はありません。 19
- イ. 意向確認書面の交付をしない保険商品の場合でも、少額短期保険募集人は、契約の申込みを行おうとする保険商品がお客様のニーズに合致しているものかどうかを、お客様が契約締結前に確認する機会を確保する必要があります。 20

(問題 9)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記 1.～4. から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 21 ・ 22)

少額短期保険募集人は、事業活動に伴い事業者が被る損害をてん補する保険契約などの場合を除いて、保険契約の販売・勧誘時に保険契約者等に対して、 ア. 21 (契約概要・注意喚起情報) を必ず交付し、書面の内容を口頭で説明しなければなりません。重要事項の説明には十分に時間をかけ、保険契約者等が書面の内容を理解したか確認したうえで契約を締結する必要があります。

なお、電話・郵便・インターネット等の イ. 22 による情報提供や説明を行う場合も、上記と同程度の情報提供や説明が必要です。

1. 対面方式 2. 非対面方式 3. 意向確認書面 4. 重要事項説明書

(問題 10)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 23 ～ 25)

ア. 生命保険契約の募集の際、被保険者の過去の病歴を偽るよう勧めることは、禁止されていません。

23

イ. 保険募集にあたり、他の保険商品と比較して自分の勧める保険商品の有利な部分だけを取り上げて説明することは禁止されています。 24

ウ. 少額短期保険業者向けの監督指針において、保険契約者が本人であるかどうかを確認せずに保険契約を締結することは、不適当な募集行為として禁止されています。 25

(問題 11)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 26 ～ 28)

ア. 保険募集にあたり、保険契約者から保険料の端数を切り捨ててほしいとの申し出がありましたが、端数の切り捨てはできないことを説明しました。 26

イ. 保険加入を断ったお客様に対して、さらに深夜の電話や訪問を行い、勧誘を継続しました。 27

ウ. 特定の少額短期保険業者の支払能力が低く、信用力に問題があるという噂を取り上げ、同社との取引をやめた方がよいと保険契約者に勧めました。 28

(問題 12)

消費者契約法および金融商品販売法に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。

(解答番号 29 ~ 31)

- ア. 消費者契約法は、保険契約も対象としており、少額短期保険業者はこの法律でいう事業者となりますが、少額短期保険業者の委託を受けた者は事業者となりません。 29
- イ. 金融商品販売法の規定により、金融商品販売業者等に該当する少額短期保険募集人は、顧客に対し重要事項の説明を怠った場合、これによって生じた顧客の損害を賠償しなければなりません。 30
- ウ. 金融商品販売法の規定により、金融商品販売業者等に該当する少額短期保険募集人は、勧誘方針を定め、公表しなければなりません。策定・公表された勧誘方針を変更した場合は、これを公表する必要はありません。 31

(問題 13)

犯罪収益移転防止法および個人情報保護法に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。

(解答番号 32 ~ 34)

- ア. 犯罪収益移転防止法の規定により本人確認を行う場合、本人特定事項の確認にあたっては公的証明書を利用する必要はありません。 32
- イ. 個人情報保護法の対象となる個人情報には、保険証券や告知書などの書面に記載された契約内容等の情報も含まれます。 33
- ウ. 少額短期保険募集人は、保険契約申込書等の少額短期保険業者所定の帳票に基づき個人情報を取得する場合には、本人に利用目的を通知または公表する必要がありますが、少額短期保険募集人が任意に定めたアンケート形式の見込客情報の取得については、利用目的の通知や公表はいっさい不要です。 34

(問題 14)

少額短期保険募集人の日常業務に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 35 ~ 37)

- ア. 少額短期保険業者は、保険契約者または被保険者の告知義務違反を知ったときは、保険契約を解除することができます。 35
- イ. 生命保険や傷害疾病定額保険においては、被保険者が15歳未満である契約は、いっさい引き受けることはできません。 36
- ウ. 保険契約者から領収した保険料を他に流用する行為は、一時的であれば差し支えありません。 37

(問題 15)

少額短期保険募集人の日常業務に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 38 ~ 40)

- ア. 使用有効期限を過ぎた保険料領収証は、使用せずに、直ちに破棄しなければなりません。 38
- イ. 保険期間の中途において、保険契約締結時の「告知事項」について変更(危険増加)が生じた場合、すでに保険契約は成立しているので、保険契約者等から変更内容を少額短期保険業者に通知する必要はいっさいありません。 39
- ウ. 保険期間中に、保険契約者から解約の申し出があった場合は、速やかに手続きをとる必要があります。 40

(問題 16)

次の文章の に当てはまる最も適切なものを下記1.~4.から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 41・42)

少額短期保険募集人は、保険契約者等から保険事故または給付事由の発生の報告を受けた場合は、その内容等を ア. 41 し、保険金が迅速に支払われるよう イ. 42 について保険契約者等に協力し助言しなければなりません。

1. 修正 2. 確認 3. 保険金の支払額 4. 保険金請求手続き

【保険商品の概要】

（問題 17）

生命保険商品に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号 43 ・ 44 ）

- ア. 生命保険のうち、定期付終身保険は、保障と貯蓄の両機能を兼ね備え、満期の場合も死亡の場合も同額の保険金が支払われる保険です。 43
- イ. 生命保険では、被保険者が責任開始日から所定期間内に自殺したときは、保険金が支払われません。 44

（問題 18）

傷害疾病定額保険に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号 45 ・ 46 ）

- ア. がん保険は、一般的に、無診査で告知のみで加入できますが、通常、保険期間の初日から一定期間（90日など）は保険金が支払われない旨が定められています。 45
- イ. 介護保険は、被保険者が機能障害または認知症により一定の介護が必要な状態となり、この状態が一定期間継続したときに介護保険金や介護一時金が支払われる保険です。 46

【保険の周辺知識】

（問題 19）

相続に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号 47 ・ 48 ）

- ア. 被相続人の遺族が子および父母（直系尊属）である場合、それらの者はいずれも相続人となります。 47
- イ. 遺言によって特定の者が全財産を相続することになると、他の相続人には何の権利も残されず、不都合な事態が生じるので、一定範囲の相続人に対し、遺言の内容にかかわらず最低限相続できる財産割合を定めていて、これを遺留分といいます。 48

（問題 20）

保険と税金に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号 49 ・ 50 ）

- ア. 保険契約者と保険金受取人が夫で、被保険者が妻の生命保険契約では、夫が受け取った死亡保険金は夫の一時所得となり、受け取った額の全額が所得税の課税対象となります。 49
- イ. 被保険者本人が生命保険や傷害疾病定額保険の入院給付金を受け取った場合、経済的保障の観点から、受け取った給付金は非課税となります。 50